

都市計画道路 上郷公田線の事業概要

横浜市道路局

上郷公田線は、栄区南部の一般道路として平成7年4月に都市計画決定されました。自動車専用道路の横浜環状南線(首都圏中央連絡自動車道)と(仮称)公田インターチェンジで連絡するとともに、栄区の幹線道路網を形成し、区内の自動車交通の円滑化を図る路線です。
事業は上郷地区、桂台地区、公田地区の3地区に分けて進めています。

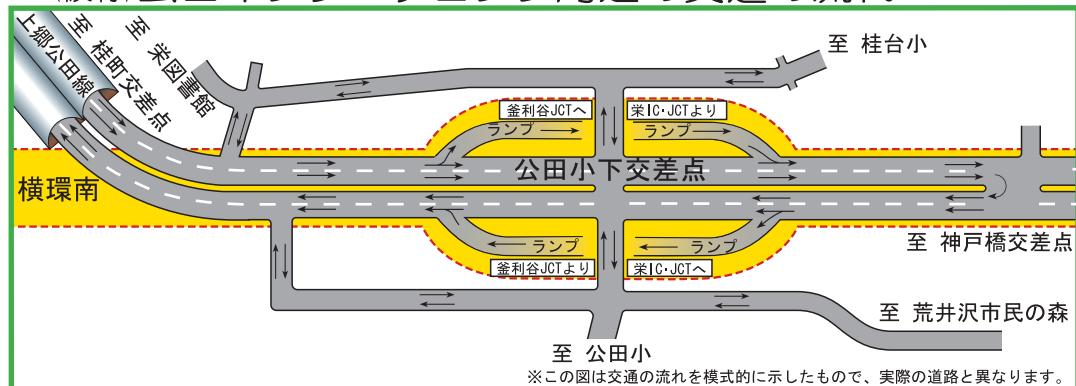
事業概要

区間	栄区上郷町(環状4号線神戸橋交差点)～栄区公田町(環状4号線桂町交差点)
延長	延長：3.2km
事業地区	上郷地区：0.2km 神戸橋交差点～西ヶ谷団地入口交差点 桂台地区：1.3km 西ヶ谷団地入口交差点～桂台第四公園付近 公田地区：1.7km 桂台第四公園付近～桂町交差点
標準幅員	上郷地区：17m、桂台地区：32m、公田地区：27m(トンネル部)・32m(一般部)
車線数	上郷地区・桂台地区：2車線、公田地区：4車線

上郷公田線案内図



(仮称)公田インターチェンジ周辺の交通の流れ



整備効果

① 道路網の形成による交通利便性の向上

渋滞の著しい環状4号線の渋滞緩和が図れるとともに、周辺地域との交通利便性が向上します。
横浜環状南線と(仮称)公田インターチェンジで接続することで、東名高速道路や中央高速道路とアクセス機能が向上します。

② 地区内道路の機能回復

渋滞を避けるため住宅地内の道路を抜け道として利用している車両の多くが、上郷公田線を利用することにより、住宅地内の道路の通過交通が減少します。

③ 本郷台駅までの所要時間の短縮

本郷台駅や栄区役所などへは、バスが運行された場合、短時間で結ばれます。

※バスの運行については現段階では未定です。

④ 歩行者、自転車の安全確保

上郷公田線には段差が少ない幅の広い歩行者空間を整備しますので、歩行者や自転車が安心して快適に通行できるようになります。

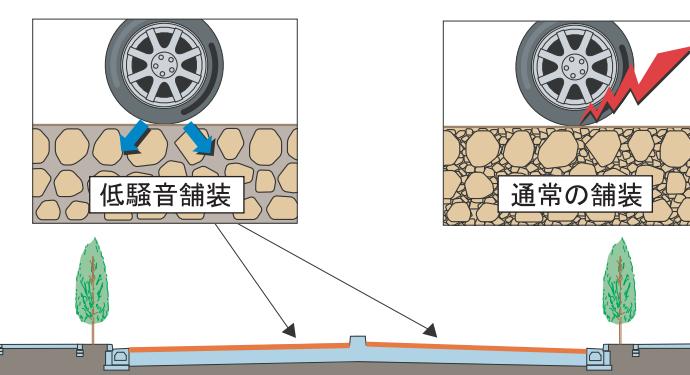
⑤ 緊急輸送道路としての機能

災害時等において、消防・救急活動などの速やかな対応が図れます。

環境保全対策

① 低騒音舗装の採用

自動車が走行する時、タイヤと路面との間に挟まれた空気が圧縮・膨張することで騒音が発生します。低騒音舗装は、こうした空気を舗装の隙間に逃がすことができ、従来の舗装と比べ騒音を低減する効果があります。



② 吸音板の設置

トンネル内において低騒音舗装だけでは騒音の環境基準を上回ってしまう場合、トンネル壁面の反射音を軽減させるために、吸音板を設置します。

問い合わせ先：横浜市道路局建設部建設課

〒231-0005 横浜市中区本町6-50-10
TEL 045-671-3526 FAX 045-663-8993

(URL) <https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/doro/kensetsu/douro/rosen/kamigo/>

平面図



縦断図

